



## 未来に繋がる 自分へ繋げる

### 主な内容

- |                   |   |                    |     |                      |    |
|-------------------|---|--------------------|-----|----------------------|----|
| ●東日本大震災への支援活動     | 2 | ●考えよう夏休みの過ごし方      | 5   | ●2011スポーツフェスティバルin玉川 | 13 |
| ●日常生活と放射線         | 3 | ●平成22年度決算・平成23年度予算 | 8・9 | ●夏季休業中の窓口事務の取り扱い     | 15 |
| ●第5回 学長学業奨励賞受賞者発表 | 4 | ●駒澤通行マナー           | 10  | ●活躍する卒業生             | 16 |

# 東日本大震災への支援活動

駒澤大学では、3月11日に発生した未曾有の東日本大震災で被災された方々への支援対策として、駒澤大学震災義援金募金事務局を立ち上げ、3月25日から募金活動を開始しました。学内に募金箱を設置し、学内外での募金活動も積極的に進めました。活動は教職員・学生に広く呼び掛け、ゼミやサークル単位での協力申し出も相次ぎ、大学を挙げてのものとなりました。



また、この義援金とは別に、文部科学省からの要請により、被災地の学校で必要とされる文具などについて

も、本学で提供可能な支援物資としてポータルサイトに登録したところ、後日、現地から連絡をいただき、すでに「ボールペン750本」、「便箋425冊」、「屋外用ラインマーカー2台」、「ソフトバレーボール13個」を発送しました。さらに、図書館においても本学の図書や学生・教職員からの提供図書を含めて希望があれば発送する体制を整えています。



被災地に提供した  
大学オリジナルボールペン

去る4月29日には、記念講堂において本学吹奏楽部による「東日本大震災チャリティコンサート」が開催され、多くの方々が来場し、素晴らしい演奏に聴き入るとともに、部員による募金活動に応じて多額の義援金が寄せられました。

これらの支援活動に加えて、本学にも被災地出身の学生が多数在学していることから、被災学生への直接的な支援策として、教職員および広く社会一般の方に呼び掛けて、修学継続のための経済的支援を行うことが決定し、多数の

賛同を得ています。

また、多くの学生や教職員が、団体や個人でボランティア活動を行っています。被災地での活動以外にも、都内近郊へ避難されている方々への炊き出し、現地へ物資を送るための仕分けなどに携わるなど様々な活動も行われています。



小倉健太郎さん（文学部地理学科 地域文化研究専攻4年）は、環境啓蒙活動の際にお世話になった気仙沼市の「ホテル望洋」の経営再開のために現地へ向かいました。従業員を解雇している状況であったため、街の復興のために全国から集まっている企業の方が宿泊している中、ボランティア活動を行った有志で、ホテルの掃除、フロントでの接客なども行ったとのこと。このことは、日本経済新聞にも掲載されました。「今は、被災地には若者が少ない状況で、小さなことでお手伝いをして喜ばれることに驚きました。若者の手が足りないのが現状なのです。これから日本を支えていく私たちの世代の人は、現地に足を運び、現実を見据え、これからの日本再生に力を注ぐべきだと思います」と小倉さん。

私たち一人ひとりが、復興のためにできることを考え、行動していくことが日本を復活させる原動力になるのです。

（総務部）

## 募金活動協力団体一覧（順不同）

仏教学部  
グローバル・メディア・スタディーズ学部有志  
法学部山崎ゼミ  
應援指導部ブルーベガサス  
陸上競技部  
剣道部  
K P S  
吹奏楽部  
駒澤大学全軽音サークル合同新入生歓迎ライブ

## 一語

Seeing is believing.  
（見ることは信じる  
ことである）。中学

の英語の授業で、「動名詞gerund」の例文として習った懐かしい言葉である。そのとき先生は「百聞は一見にしかず」のこと、と説明してくれた◆この有名な英語の格言は聖書から来たらしい。「自分の目で直（じか）に見てイエスと確認できないうちは、他人が何と言おうともそれがイエスとは信じない」と言っていたトマスが、目の前にイエスが実際に現われたとたん信じるよう

になる（ヨハネ福音書、20章29節）。これに対し「百聞不如一見」の方は、古代中国の歴史書『漢書』に記された前漢の將軍・趙充国の、「敵軍に勝つには、前線から離れたところで情報を集めるのではなく、自身が前線に赴き自分の目で直接敵陣の様子を確かめなければならない」という主旨の言葉に由来するとされる◆信仰と戦争——起源はずいぶん異なるが、自分の目による確認の重要性を指摘する点では、たしかに両者は同意と言える。伝聞情報ばかりでなくテレビなどの視覚映像が溢れる現在で

も、この指摘はなお有効である。でも、それだけなら「百聞不如一見」のみで十分足りる◆いまは亡き肉親・友人たちが私の夢の中に、昔のままの元気な姿で現われる。夢の中で私は、ぼんやりと「彼らは死んだのに変だけれど、現に目の前にいるのだから確認など必要ない」と考えている。夢から覚めて必ず思い出すのがこの英語の格言であり、私にとっては最初から、それは「百聞不如一見」とは逆に、自分の目の信じやすさに対する警鐘、たえず本気で「我が目を疑え」という警句であった。



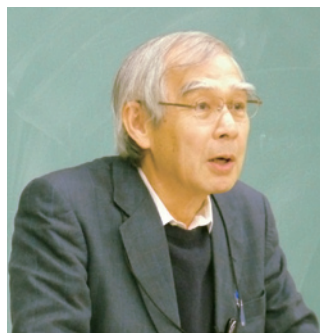
# 日常生活と放射線

福島原発近くの人々は大変お気の毒であるが、首都圏では大気中や地表の放射線量率に問題はない。具体的な測定数値がNHK-TVや新聞で報道されている。水道水も今は安全である。

ところが、数ある発ガン原因のひとつが放射線であるため、首都圏でも多くの人が放射線に神経質になっている。他方、日本では、30%の人がガンで亡くなっている。こうした中、ガンにならないための日常生活と放射線の関係を考えてみる。

まず放射線の人体への影響をミクロに見てみよう。放射線が人体に入っても、ほとんどの放射線は細胞内のDNAに出会うことはない。DNAと出会う確率は大変小さい。DNAと出会ったとしても、必ずDNAを損傷するわけではない。しかし、確率は小さいがDNAを損傷する場合がある。幸い、

DNAは損傷を受けても、自身で損傷を修復する機能を持っている。修復に失敗したとしても、細胞は自滅することにより、間違った細胞を再生産しない仕組みがある。極まれに、修復に失敗しても生き残る細胞があり、それがガンの発生につながる。



冒頭で述べたように、ガン発生の原因は色々ある。放射線以外にも、種々の発ガン物質、ウイルス、ストレスなどがある。体内では、毎日、多くのDNAが色々な原因によって損傷を受けているとのこと。それに関わらず、障害の発生は極まれである。障害発生を克服する機能をもった種が進化の過程を経て生き残ったとも考えることができる。万一ガンが発生したとしても、原因が多様であるために、その原因が放射線であったと特定することは不可能である。

繰り返すが、自然放射線よりほんの僅かでも余計に放射線を被ばくすると10年、20年後に必ずガンになる訳ではない。余計な被ばくがゼロであってもガンになるリスクはある。

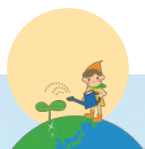
では、日常生活をどうすればよいのであろうか。

まず、放射線をあなどらない。医療被ばくも含めて、無駄な放射線被ばくを避ける。それと同時に、放射線被ばくゼロを求めて神経質にならないこと。放射線以外の発ガン原因に対して、ほどほどに注意を払う。一般的に健康によいとされることを行えばよい。発ガン物質が少ないと言われるものを食べ、アルコールを飲み過ぎず、禁煙し、適度に運動し、十分な睡眠をとり、日常を楽しむ。

最後に私の結論を述べると、総合的にバランスよく健康に留意することが日常生活と放射線の望ましい関係である。

(医療健康科学部教授 小川 雅生)

## もったいない話



3月11日の東日本大震災、駒澤大学のキャンパスでも相当な揺れを感じ、建物・設備・備品等少なからず被害がありました。入学式は中止になり、授業開始も1カ月延期せざるを得ませんでした。

あの日以来、コンビニの看板は目立たなくなり、自動販売機が動いていても電気は消えている。駅の照明も部分的に消えています。



日本は明るすぎたのか

もしれません。エスカレーターやエレベーターも消費電力の大きな設備です。電車の車内も5本に1本くらいの割合で蛍光灯が外されていますが、本を読むのに困るものでもありません。電車の中はあれほど明るく、寒いくらいの冷房を効かせる必要はなかったのです。電気は有料であるけれど電力契約をすれば殆ど限度なく使えるものでした。でも、違ったのです。必要以上の電力は「もったいない」ものだったのです。

さて、この夏、駒澤大学は昨年比15%の電力削減をし



なければなりません。皆さんお気づきかと思いますが、すでにキャンパス内外灯の間引き、自動販売機の消灯、授業教場・事務室の照明を照度基準を維持した上で削減、空調の28℃設定、温水洗浄便座の保温・洗浄水の停止、エレベーターの稼働台数の縮小などを実施しています。

大学の消費電力の30%は空調によるものです。教場棟の空調は廊下には入っていません。教場はドアや窓を閉める前提で温度調整しているので、ドアや窓を開けると冷やした空気を室外に捨ててしまうことになります。空調効果が「もったいない」のです。

他にも、授業が終わった後で教場の照明が点けっぱなしになっていたりすることがよくあります。身近な「もったいない」ことを探し、自分の生活を見直してみるチャンスです。省エネにも繋がる取り組みを身近なところから始めてみませんか。節電にご理解ご協力をお願いします。

(管財部 峰田 典子)

## ■第5回 学長学業奨励賞受賞者発表

「学長学業奨励賞」の受賞者が発表された。

この賞は、平成19年度に制定され、各学科の成績上位者若干名が選出されるもので、今年は、219人が受賞した。

### <仏教学部禅学科>

【2年次生】和田徹生・榊屋駿介  
【3年次生】麦倉達生・吉村貢  
【4年次生】武井慎悟・三田村幸奈

### <仏教学部仏教学科>

【2年次生】織田雄三・三島秀典・田村一茂  
【3年次生】鬼頭誠道・土井操

SINGRUKSA PHRAWIRUN

【4年次生】奥山いをり・竹村義晃・江上源道

### <文学部国文学科>

【2年次生】山口彩・山口朝子・渡辺裕乃  
【3年次生】鈴木真弓・高橋奈央・橋田果奈  
【4年次生】松田典子・塙秀徳・馬場勇光

### <文学部英米文学科>

【2年次生】柳沙佑美・小林美菜穂・岡崎那歩子  
【3年次生】佐藤祐加・高橋明希・馬場絵里奈  
【4年次生】中嶋早紀・武田翼・関口美どり

### <文学部地理学科地域文化研究専攻>

【2年次生】大井雅明・渋谷真実  
【3年次生】清田朋子・藤田翔平  
【4年次生】根岸沙津樹・中嶋紘子

### <文学部地理学科地域環境研究専攻>

【2年次生】山田加奈子・小田綾乃  
【3年次生】石川美風香・待井えり  
【4年次生】井出愛弓・森みなみ

### <文学部歴史学科日本史学専攻>

【2年次生】野村舞・水沼真紀  
【3年次生】舟久保大輔・高橋務  
【4年次生】東口美由希・竹谷希

### <文学部歴史学科外国史学専攻>

【2年次生】近藤拓・鈴木菜穂美  
【3年次生】新田真子・江口健太  
【4年次生】山田紘平・櫻田有紀

### <文学部歴史学科考古学専攻>

【2年次生】猪股裕理  
【3年次生】水野華菜

### <文学部社会学科社会学専攻>

【2年次生】益子落乃・山田梨絵  
【3年次生】岸野まな美・古谷沙織  
【4年次生】宇田川美帆・坂入宏美

### <文学部社会学科社会福祉学専攻>

【2年次生】小池洋平・平岡実優  
【3年次生】山本薫・石山亜由子  
【4年次生】奥野雄太・秋場優貴

### <文学部心理学科>

【2年次生】小野寺将・村野恵理香  
【3年次生】上田早希・北岡真璃奈  
【4年次生】島田美菜実・戸村恵理子

### <経済学部経済学科>

【2年次生】玉村契悟・三澤貴之・深谷絵美  
井下田健太郎・渡邊琴  
山本奨太・武藤達也  
【3年次生】須藤晴香・菊原宏和・鈴木優也  
大石千尋・深野直人・山本大二郎  
利根川香織  
【4年次生】進藤一樹・橋本裕也・小川慶太郎  
中里裕幸・小野塚彩・橋場翔平  
松本隆臣

### <経済学部商学科>

【2年次生】大澤浩紀・大竹咲紀・木下裕章  
山本夏帆・工藤育子  
【3年次生】横田雅美・海老原靖之・柳澤舞  
津田菜都美・岡田理恵  
【4年次生】寺尾絵美・上杉志保・島田泰行  
魚谷麻以子・李雅珍

### <経済学部現代応用経済学科>

【2年次生】星野裕介・吉野太郎・村井理奈  
【3年次生】藤井恵・井上彩・小坂隼海  
【4年次生】阿地俊寛・恩田明奈・萩原翔太

### <法学部法律学科フレックスA>

【2年次生】齋藤新・和栗一樹・島田遼  
池田悠二・阿部正暉・横関友也  
【3年次生】高橋直人・船山純平・郭恵美  
齋藤瑛登・中山友莉・熊田龍一  
【4年次生】佐藤俊一・関俊成・角田諭香  
葉光明・高橋尚輝・佐野美鶴

### <法学部法律学科フレックスB>

【2年次生】小原康照・谷口伸・鈴木政光  
島田里奈  
【3年次生】田口彩夏・蟹澤朋子・横田将希  
永田豊二

【4年次生】藤井大亮・毛塚寛哉・大西由圭  
佐野哲也

### <法学部政治学科>

【2年次生】窪田武穂・原澤唯・高柳元海  
白倉銀河  
【3年次生】近藤祐之・五ノ井健・渡邊唯  
根本徹平  
【4年次生】河原彩那・内海大貴・坂本恵庸  
吉井勇人

### <経営学部経営学科>

【2年次生】原ゆかり・西澤駿・岸井隆宏  
木村友・塚原直人・福永沙樹  
荒井絵里香  
【3年次生】梶谷彩・外池英昭・嶋村裕之  
平山公一・表宏樹・鷺谷拓成  
清水美緒  
【4年次生】綿引香織・椎名麻美・矢島友子  
船木瞳・島田知宏・菅沼雄一

### <経営学部市場戦略学科>

【2年次生】加藤拓弥・岡山奈津希・照山優太  
林義真  
【3年次生】根岸広平・小林知佳・赤井澤尚史  
【4年次生】小林聖奈・松村有理沙・小林真人  
山田亜紀子

### <医療健康科学部診療放射線技術科学科>

【2年次生】守屋駿佑・小原佑介  
【3年次生】木嶋幸太郎・高藤優輝  
【4年次生】小菅正嗣・松本ジョエル

### <GMS学部グローバル・メディア学科>

【2年次生】大矢有里子・木之内綾香  
大澤麻未・窪田貴音・金藤早貴  
大類未和  
【3年次生】松村千尋・吉岡結花・松井智子  
原田若奈・榎峯三紗・難波怜奈  
【4年次生】宮下真緒・伊藤麻美・丁瀟  
山本麻仁・曹霞・野本亜花音

### ※学長学業奨励賞

平成19年度より、従来の学長賞・学長奨励賞に加え、新たに在校生の学業優秀者を対象として、学業意欲を喚起することを目的に、学長学業奨励賞が制定された。各学科・専攻等ごと、2・3年次生は過去1年間の成績により上位者若干名、4年次生は過去3年間の成績上位者若干名に授与されるもので、授与は新年度になる。

ただし、2・3年次生は対象年度の卒業必要科目の修得単位数が40単位以上（医療健康科学部は下表参照）、4年次生は3年間の卒業必要科目合計修得単位数が110単位以上であること。さらに、新年度の学籍を取得していることが推薦基準となる。

平成23年度の学籍	推薦となる成績	修得単位数	授与年度
2年次生	平成22年度成績	40単位以上(医療35単位以上)	平成23年度
3年次生		40単位以上(医療31単位以上)	
4年次生	平成20・21・22年度成績	110単位以上	



## 考えよう夏休みの過ごし方 就職、より多くの選択肢を得るために

### …インターンシップとアルバイト…

8月1日から始まるインターンシップ(就業体験)。38事業所(会社、団体)から体験の場の提供を受け、キャリアセンターが選考斡旋した3年生70人余りが参加します。

夏休みの1～2週間、朝から夕方終業まで、挨拶、電話応対、言葉遣いに始まるマナー講習、職場見学と同行実習、グループワーク、プレゼンテーション、と事業所ごとの研修プログラムをこなします。周囲は年長者が大半、それだけで緊張の連続。

コミュニケーション能力があがった、大学で学ぶべきことが分かった、働く意味がみえた、などと感想を言えるようになるのも就業体験の効果です。

キャリアセンター主催には応募できなくても、WEBでインターンシップを検索し、そこから直接交渉して体験するのも一方法でしょう。



インターンシップの情報はキャリアセンター掲示板で

『アルバイトだって就業体験と同じ』の声が聞こえます。でも、与えられた役割を上手に果たせても、なんのために、を忘れるとただお金が右から左へと消え、他には何の記憶も残りません。結局、小さな歯車を体験しただけの夏休み…。

大切な時間です。アルバイトは、自分の大学生活を維持するための臨時就労と位置づけ、臨むべきかもしれません。

### ……あなたの課題は新聞の中に……

実社会を大きく知るのも悪くありません。就職を目前にした学生が購読する日本経済新聞は、朝刊34～40ページ、25万字から30万字余りの文字情報です。30分のTVニュースを文字に換算すると～1.5万字。比較にならない情報量です。

総合・国際・経済・政治・企業・投資・財務・スポーツ・社会・文化、新語や時事の解説。慣れてくれば「見出し」で必要な情報を見分けられるし、切り抜いて項目別スクラップができます。興味がわいた特集ページは、1篇のリポート読破に匹敵。知識や考え方に会い、新たな疑問が生まれ、その疑問に取り組む、また新しい知識に出会う、この作業の繰り返しで自分を育てていくのです。

### ……生き方モデル探し……

同紙の毎月1日から始まる連載、「私の履歴書」は、各界の著名人の、誕生、学校時代、就職、結婚、職業、を自伝



風に紹介しています。4月はブッシュ元アメリカ大統領、5月はアサヒビール(株)瀬戸会長、6月はジャズピアニストの山下洋輔氏。「こんな考え方もあるんだ」との発見や「こんなことでいいのか」との反省も生まれます。

12カ月読めば12人の生き方に接することができます。ときには反発を感じるかもしれませんが、ジックリその背景や根拠を考えると、深い共感を得るかも知れませんし、困難に立ち向かう勇気を貰えるでしょう。

### ……今年の夏休みは？……

旅もいい、資格に挑戦だっていい、また、辞書と読書ノートを傍に、教養書、実用書、話題書をひもとく…。群れてばかりいた人は一人に、一人のことが多かった人は良き師よき友との出会いを。

二兎でも三兎でも追ってみる、それが生涯の指針に出会う機会を広げます。

夏休みは自分の意志で使うもの、自分の意志ですから身につく、それが大学時代の夏休みだと思ふのです。(キャリアセンター部長 橋本 長亮)

平成  
22年度

## 大学生の就業力育成支援事業に選定 ～「就業力基礎Ⅰ・Ⅱ」を開講しました～

文部科学省の平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」に、「正課・課外を連携する自発的就業力育成～職業の多様観とコンピテンシー開発～」(取組学部：経済学部、グローバル・メディア・スタディーズ学部)が選定されました。441件の申請の中から審査を経て選定された180件のうちのひとつとなります。

本取組は、両学部において、建学の理念の基盤である「仏教・禅の精神」に基づく人生観・職業観の気づきを土台として、基礎学力と学習意欲の形成、学習習慣の確立により、自発的にキャリア設計を行うための基礎力の強化を図ることを目的としています。

本取組では就業力育成科目群として、「就業力基礎Ⅰ～Ⅳ」を1、2年次に、「就業力応用Ⅰ～Ⅳ」を3、4年次に開講します。「就業力基礎Ⅰ・Ⅱ」では、両学部の教員で構成されるプロジェクトチームが開発したテキストに基づき、受講生はグループ単位で課題に取り組みます。課題解決を支援するために、両学部の2年生から4年生の学生をサポーターとして採用し、サポーターは受講生にアドバイスをを行います。その他にも、受講生の学習履歴やキャリア開発に関するデータを統合したシステムを開発し、受講生のキャリアアップをサポートします。

受講生は就業力育成科目群を履修す

ることで、「働く意欲・意義」「人生を生き抜く力・人生の意味」を自身の中に形成し、キャリア形成に向けた「知識・能力」を学部のカリキュラムや課外講座、資格取得などから自発的に選び、身につけることができます。

(教務部教育支援係)



就業力GP授業風景

## 働く前に読んでみる？～図書館スタッフおすすめ図書～

昨秋、図書館ではスタッフおすすめ図書として「働く前に読んでみる？」の企画展を行なったところ好評を博しました。現在、就職活動の最前線にいる方、これから本格的に活動を開始しようと思っている方のために、以下に昨年度の企画展の一部を再掲しますのでぜひ参考にしてみてください。また、図書館では話題の新刊書等を随時展示していますので、来館のうえ手にとってみてください。なお、「働く前に読んでみる？」の詳細はホームページでも紹介していますのであわせて参照してください。



	書名	著者名	出版年	請求記号	場所
1	働くことがイヤな人のための本：仕事とは何だろうか	中島義道	2001.2	366/231	3F
2	自分の考えを「5分でまとめ」「3分で伝える」技術	和田秀樹	2006.12	361.45/343	3F
3	表現力のレッスン	鴻上尚史	2005.10	361.45/308	3F
4	対人力：人を見抜く人と付き合う人を惹きつける人を動かす	仲村啓	2001.10	361.4/247	3F
5	未来をひらくビジネスマナー 就職活動・社会人デビューを控えたみなさんに	長江由美子	2010.9	336.47/26	3F
6	伝える力：各界トップランナーが講師をつとめる自己表現の教室	久恒啓一	2004.1	361.45/222	3F
7	心理学者に学ぶ気持ちを伝え合う技術	榎本博明	2010.6	361.45/474	3F
8	組織を動かすコミュニケーション力 (RYOKU) 企業・学校・サークルあらゆる組織の円滑な運営のために	高橋真知子	2010.10	361.45/486	3F
9	グッジョブ！：超実践的「憧れお仕事」就職ガイド：hello good job	鍋田吉郎	2005.10	366.2/276	3F
10	人生を無駄にしない会社の選び方	新田龍	2009.10	366.2/367	3F
11	会社に入ったら読む本：自分を生かし、仕事をおもしろくしたいキミに	坂川山輝夫	1988.2	336.47/8	3F
12	就活のまえに：良い仕事、良い職場とは？	中沢孝夫	2010.1	366/274	3F
13	講義仕事と人生	井上雅雄 立教大学キャリアセンター編	2008.5	366/267	3F
14	就活のしきたり：踊らされる学生、ふりまわされる企業	石渡嶺司	2010.10	377.9/137	4F
15	学生のためのキャリアデザイン入門	渡辺峻・伊藤健市	2010.9	377.9/135	4F

## うらぽんえ 盃蘭盆会

## 盆踊り・人と地域をつなぐ

沖縄でこの季節になると、大太鼓や締太鼓を打ち鳴らし、勇壮にムラの広場や街を舞い踊り練り歩く若者たちの隊列をみることができる。その囃子ことばからこれをエイサーという。いまや、そのパフォーマンスに人気が高まり、県内各地や全国でもエイサーグループが組織されるようになって、フェスティバルやこのための祭りがあちこちで行われるようになっていく。だが、これは沖縄の盆踊りである。地域のコミュニケーションのために盆踊りが催されることはよくあることだが、エイサーは地域を越えて各地の人と人をつなぎ、結果、地域振興にも一役買っていることになる。

一説によれば、エイサーは17世紀はじめに浄土宗の僧侶袋中上人によって琉球に伝えられた念仏踊りが、その始まりと考えられている。袋中は今の福島県いわき市の



出身で、じゃんがら念仏踊りというこの地の盆踊りがエイサーのルーツであるとも言われる。これが縁となっていわき市とエイサー行事を行う沖縄や全国各地との交流も生まれ、いわき市でもエイサーが行われているところもあると聞く。いわば、里帰りである。

エイサーはお盆の御霊送りの日（ウークイ）にかえり行く先祖の霊を送る踊りだが、東日本大震災で、多くの新盆供養を余儀なくされる今年のお盆は、死者供養と、地域振興

の2つを担ったエイサーが各地で行われるだろう。

沖縄の盆は旧暦7月に行われる。今年のはたまたま8月12日から14日にあたり、新暦の8月盆とほぼ重なっている。同じ頃沖縄と東北で太鼓の音が鳴り響いているだろう。

（総合教育研究部准教授 小川 順敬）



# 平成23年度秋季公開講座のお知らせ

## 講座Ⅰ

### 『般若心経』の謎を解く

開講時間 13:00 ～ 14:40

会場 深沢キャンパス120周年アカデミーホール

## 講座Ⅱ

### 日本のパワー・スポットを旅する

開講時間 15:10 ～ 16:50

会場 深沢キャンパス120周年アカデミーホール

第1回	松本史朗教授	10月22日(土)	般若の「空」について①
第2回	松本史朗教授	10月29日(土)	般若の「空」について②
第3回	池田魯参教授	11月5日(土)	観音さまの人気のひみつ①
第4回	池田魯参教授	11月12日(土)	観音さまの人気のひみつ②
第5回	藤井 淳講師	11月19日(土)	陀羅尼のはたらき①
第6回	藤井 淳講師	11月26日(土)	陀羅尼のはたらき②
第7回	佐藤秀孝教授	12月3日(土)	道元と『般若心経』①
第8回	佐藤秀孝教授	12月10日(土)	道元と『般若心経』②

第1回	中嶋真也准教授	10月22日(土)	富士山 — 神秘的の霊峰
第2回	中嶋真也准教授	10月29日(土)	伊勢神宮 — 「お伊勢さん」パワーの源
第3回	中嶋真也准教授	11月5日(土)	奈良・京都 — 古都のパワー・スポット
第4回	瀧音能之教授	11月12日(土)	出雲大社 — 縁結びのパワー・スポット
第5回	小泉雅弘准教授	11月19日(土)	明治神宮 清正の井 — 東京を代表するパワー・スポット
第6回	瀧音能之教授	11月26日(土)	高千穂峡 — 日本神話の原郷
第7回	瀧音能之教授	12月3日(土)	榛名神社 御影岩 — 巨岩が生み出すパワー
第8回	瀧音能之教授	12月10日(土)	筑波山 — 修験と歌垣の聖地

## 健康づくり教室 ジョギングコース・成人体操コース・ジュニア体操コース・武道(空手道)コース

第Ⅱ期 平成23年9月25日(日)～11月20日(日)

第Ⅲ期 平成24年1月8日(日)～3月11日(日)

※パンフレット配布時期 講座Ⅰ・Ⅱ・・・8月下旬予定

健康づくり教室・・・8月下旬予定

受付、申し込み等詳細は下記へお問い合わせください。

(問い合わせ先) 駒澤大学深沢校舎事務室 公開講座係 TEL.03-3702-9625



## 研究こぼれ話

### 都市と農山村と相続と

文学部教授 牛島 千尋



東京一極集中と言われて久しい。1980年代初めから、東京の都心周囲の、いわゆるインナーエリアの研究をしてきた私にとって、この30年間の変化は非常に大きいものと映る。

1990年代初めに西新宿の都市再開発地区に行ったことがある。基礎工事中の現場を見学させてもらったのだが、ビルが建つのと前後してバブル経済が終わった。1990年代後半に訪れた時には、完成したビルにテナント募集の看板が掛かっていた。

都市社会学が専門であるため、中国山地の山中に生まれ育ちながら、農村や山村の調査をした経験はなかった。しかし、昨年、図らずも田舎の家、土地、田畑、そして山林までも相続する羽目になった。農業委員会、森林組合、農協など、これまで聞き取り調査すらしたことのない組織と深い関わりを持つことになった。

偶然だが、学科の同僚でこの地域をフィールドワークとしている先生がいらっしゃる。かつては役牛の市が立ち、山の奥にこんな開けた所があるのか不思議に思うほど栄えた場所であったが、高度経済成長が始まると都市に出る人が徐々に増え、昭和34年の豪雪で一家離村が続いて過疎地域となった。当の先生は、この地域を「限界集落」として研究を進めているそうだ。

今の日本で、都市に出た者がこのような地域の田畑や山林を相続することは、一種の「ばば抜き」に近いものがある。久しぶりに訪れた西新宿で、再開発を遂げて林立する摩天楼を見上げながら、限界集落で活用されることもなく林立する山林の木々と表裏の関係にあることを感じた次第である。

### 「経済」という言葉

経済学部教授 阿部 弘



経済学の歴史を研究していると、ごく普通に用いている概念に意外な意味があることにしばしば気がつくことがある。たとえば「経済」である。この言葉は「経世済民」から来たものであるが、君子が政治をおこなっていく場合の組織機構と関連している。かつての「敵」であった諸侯などを「賓客」として自分の配下に組み入れて世の中を統治して行くことを意味している。貢物を出させ領地を与えて政治を行うのであるが、この考えは実はヨーロッパでも観られるものであった。ドイツのヴィルトシャフトやロシアでのホジャイストボという言葉は現在でも「経済」と日本語では訳がなされるが、これらも主人が旅籠に泊りに来た客(外人であり敵とみなされる)をどのようにして接待していくのかということを意味している。同様のことはエコノミーにも当てはまる。この語は古代ギリシアの「家政」から来たものだが、キリスト教での「教区管理」を意味し、「客」への接待業務を含意するようになっていった。

経世済民論は種々の開発をおこなって社会の福祉を充実していくことに関するものであるし、ヨーロッパの経済観念も同じであるから、古今東西、「経済」という概念は同じ響きをもっていたことが能く分かる。そして現在わたしたち全ての人々が同時に「主人」であり、地球的な規模で「経済」が展開していることを考えると、お互いの生活の充実を図っていくのが「経済」の本来の姿なのではないかと思うのである。

経世済民論は種々の開発をおこなって社会の福祉を充実していくことに関するものであるし、ヨーロッパの経済観念も同じであるから、古今東西、「経済」という概念は同じ響きをもっていたことが能く分かる。そして現在わたしたち全ての人々が同時に「主人」であり、地球的な規模で「経済」が展開していることを考えると、お互いの生活の充実を図っていくのが「経済」の本来の姿なのではないかと思うのである。

# 平成22年度決算について

## 【資金収支決算書】

### 収入の部

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は221億5,015万円で、主な項目は学生生徒等納付金収入168億1,491万円、入学検定料などの手数料収入11億5,689万円、寄付金収入4億3,929万円、補助金収入20億6,297万円、授業料・入学金等の前受金収入65億1,383万円、各種引当特定資産からの繰入れ等のその他の収入15億8,997万円となっています。

### 支出の部

次年度繰越支払資金を除いた当年度支出は211億6,848万円で、主な項目は人件費支出112億22万円、教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出39億9,828万円、教育・研究を間接的に支援する管理経費支出9億3,483万円、日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等からの借入に対する借入金等返済支出26億4,197万円、駒澤大学玉川キャンパス部室棟・体育館棟建設工事費、教場マイク更新工事費、教場空調機工事費等の施設関係支出8億6,898万円、教育研究に要する機器備品（駒澤大学情報センター教場器具費等）や図書などの設備関係支出2億9,676万円、各種引当特定資産への繰入れ等の資産運用支出8億6,000万円となっています。

## 【消費収支決算書】

帰属収入は、学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入で、215億7,895万円となりました。

この帰属収入から基本金組入額17億1,349万円を差し引いた消費収入は、198億5,546万円となりました。

一方、人件費・教育研究経費・資産処分差額などの消費支出は、

209億2,862万円となりました。このうち26億3,124万円は特定資産に係る評価差額で、18億6,393万円は減価償却額です。

消費支出が消費収入を上回った結果、10億6,316万円の消費支出超過となり、累積の翌年度繰越消費支出超過額は327億272万円となりました。

## 【貸借対照表】

平成22年度末の資産の部合計は844億1,958万円となりました。そのうち有形固定資産は、玉川キャンパス部室棟・体育館棟建設等で増加したものの、減価償却により7億3,940万円減少しました。その他の固定資産は、特定資産の減損処理に伴い、特定資産へ有価証券（短期）から繰り入れを行ったものの、7億6,561万円減少しました。また、流動資産については、現金預金などは増加したものの、有価証券（短期）から特定資産へ繰り入れたため7億635万円減少しました。よって、資産合計では前年度比22億1,135万円減少しました。

負債の部合計は301億3,300万円となりました。そのうち固定負債は、退職給与引当金、長期借入金、未払金等の減少により28億3,297万円減少しました。流動負債は、短期借入金・預り金は増加したものの、前受金の減少により2,871万円減少しました。よって、負債合計では前年度比28億6,168万円減少しました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は、542億8,658万円で、前年度比6億5,033万円増加しました。

基本金の部合計は、869億8,930万円で前年度比17億1,349万円増加しました。

消費収支差額の部合計は、翌年度繰越消費支出超過額が327億272万円となり、前年度比10億6,316万円増加しました。

学校法人 駒澤大学

## 平成22年度 資金収支決算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

### 【収入の部】

(単位：千円)

科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金収入	16,725,380	16,814,906	△ 89,526
手 数 料 収 入	1,023,725	1,156,886	△ 133,161
寄 付 金 収 入	410,576	439,291	△ 28,715
補 助 金 収 入	1,864,582	2,062,970	△ 198,388
資産運用収入	193,515	205,788	△ 12,273
資産売却収入	27,500	27,505	△ 5
事 業 収 入	148,649	153,566	△ 4,917
雑 収 入	720,660	711,108	9,552
借入金等収入	54,000	52,200	1,800
前受金収入	6,597,551	6,513,834	83,717
その他の収入	1,030,982	1,589,973	△ 558,991
資金収入調整勘定	△ 7,603,269	△ 7,577,873	△ 25,396
前年度繰越支払資金	10,998,316	10,998,316	
収入の部合計	32,192,167	33,148,470	△ 956,303

### 【支出の部】

科 目	予算額	決算額	差 異
人 件 費 支 出	11,399,899	11,200,220	199,679
教育研究経費支出	4,432,206	3,998,282	433,924
管理経費支出	1,108,943	934,829	174,114
借入金等利息支出	355,828	355,825	3
借入金等返済支出	2,641,966	2,641,966	0
施設関係支出	1,002,514	868,979	133,535
設備関係支出	394,229	296,758	97,471
資産運用支出	460,004	860,001	△ 399,997
その他の支出	590,961	574,960	16,001
〔予備費〕	(0)		
	239,000		239,000
資金支出調整勘定	△ 647,406	△ 563,339	△ 84,067
次年度繰越支払資金	10,214,023	11,979,988	△ 1,765,965
支出の部合計	32,192,167	33,148,470	△ 956,303

(注)金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学

## 平成22年度 消費収支決算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

### 【消費収入の部】

(単位：千円)

科 目	予算額	決算額	差 異
学生生徒等納付金	16,725,380	16,814,906	△ 89,526
手 数 料	1,023,725	1,156,886	△ 133,161
寄 付 金	433,663	473,637	△ 39,974
補 助 金	1,864,582	2,062,970	△ 198,388
資産運用収入	193,515	205,788	△ 12,273
資産売却差額	0	23	△ 23
事 業 収 入	148,649	153,566	△ 4,917
雑 収 入	720,660	711,173	9,487
帰属収入合計	21,110,174	21,578,949	△ 468,775
基本金組入額合計	△ 1,804,166	△ 1,713,489	△ 90,678
消費収入の部合計	19,306,008	19,865,460	△ 559,452

### 【消費支出の部】

科 目	予算額	決算額	差 異
人 件 費	11,287,763	11,094,112	193,651
教育研究経費	6,081,578	5,680,206	401,372
管理経費	1,321,749	1,120,855	200,894
借入金等利息	355,828	355,825	3
資産処分差額	274,777	2,675,292	△ 2,400,515
徴収不能引当金繰入額	2,408	2,331	77
〔予備費〕	(239,000)		
	0		0
消費支出の部合計	19,324,103	20,928,621	△ 1,604,518
当 年 度 消費支出超過額	18,095	1,063,161	
前 年 度 繰 越 消費支出超過額	31,639,555	31,639,555	
翌 年 度 繰 越 消費支出超過額	31,657,650	32,702,716	

学校法人 駒澤大学

## 貸 借 対 照 表

平成23年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	71,320,639	固 定 負 債	17,481,997
有形固定資産	55,209,856	長期借入金	13,689,972
土地	17,457,717	退職給与引当金	3,715,587
建物	24,992,826	長期リース未払金	65,454
構築物	2,719,330	長期預り金	10,984
教育研究用機器備品	1,395,338	流動負債	12,650,999
その他の機器備品	62,431	短期借入金	2,696,966
図 書	8,569,613	未 払 金	424,457
車 輜	1	リース未払金	32,292
建設仮勘定	12,600	前 受 金	6,513,834
その他の固定資産	16,110,783	預 り 金	2,983,450
電話加入権	10,599	負債の部合計	30,132,996
意匠・商標登録権	5,851		
差入保証金	88,050	基本金の部	
有 価 証 券	678,874	科 目	金 額
長期貸付金	72,699	第1号基本金	77,214,958
退職給与引当特定資産	4,135,970	第2号基本金	6,000,000
減価償却引当特定資産	1,096,188	第3号基本金	1,022,340
建設準備引当特定資産	1,629,825	第4号基本金	2,752,000
将来計画引当特定資産	1,358,730	基本金の部合計	86,989,298
奨学金引当特定資産	2,857		
図書館書庫建設事業資産	1,200,000	消費収支差額の部	
大学食堂建設事業資産	1,300,000	科 目	金 額
講義・研究棟建設事業資産	3,000,000	翌年度繰越消費支出超過額	32,702,716
駒大高収収地拡張事業資産	500,000	消費収支差額の部合計	△ 32,702,716
第3号基本金引当資産	1,022,340		
出 資 金	8,800		
流 動 資 産	13,098,939		
現金預金	11,979,988		
未 収 入 金	722,650		
貯 蔵 品	12,053		
短期貸付金	18,273		
有 価 証 券	246,766		
前 払 金	118,004		
立 替 金	1,205		
資産の部合計	84,419,578	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	84,419,578



# 平成23年度予算について

## 【資金収支予算書】

### 収入の部

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は208億3,431万円で、**前年度繰越支払資金**は102億1,402万円（前年度予算比7億8,429万円減）となっています。**学生生徒等納付金収入**は165億8,492万円（1億4,046万円減）。**手数料収入**は9億7,178万円（5,195万円減）。そのうち入学検定料収入は9億4,542万円計上しています。**寄付金収入**は曹洞宗宗務庁からの「仏教研修館建設寄付金」、教育後援会、同窓会、駒澤会、その他からの寄付金で2億1,368万円（1億9,689万円減）。国や地方公共団体からの**補助金収入**は18億9,145万円（2,687万円増）。受取利息や施設の貸出使用料等の**資産運用収入**は1億1,493万円（7,859万円減）。**事業収入**は1億7,706万円（2,841万円増）。**雑収入**は7億2,802万円（736万円増）。**借入金等収入**は5,400万円（増減なし）。翌年度の収入となる**前受金収入**は64億7,622万円（1億2,133万円減）。よって、収入の部合計は310億4,833万円です。

### 支出の部

次年度繰越支払資金を除いた当年度支出は219億5,788万円で、**次年度繰越支払資金**は90億9,046万円（11億2,357万円減）となっています。**人件費支出**は113億7,863万円（2,127万円減）。教育活動・研究活動・学生生活支援などの**教育研究経費支出**は45億4,368万円（1億1,147万円増）。教育・研究を間接的に支援する**管理経費支出**は9億1,372万円（1億9,522万円減）。**借入金等利息支出**は3億1,058万円（4,524万円減）。日本私立学校振興・共済事業団等へ返済する**借入金等返済支出**は27億4,697万円（1億500万円増）。施設

関係支出は8億9,385万円（1億866万円減）。主な内容は、駒澤大学1号館耐震改修工事費、玉川キャンパスサッカーグラウンド人工芝更新工事費、本校キャンパス教場用マイク更新工事費等です。教育研究に要する機器備品や図書などの**設備関係支出**は5億1,528万円（1億2,105万円増）。主な内容は、KOMAnet2011リプレイス費、実験実習器具費及び教育図書費等です。**資産運用支出**は2億5,000万円（2億1,000万円減）。主な内容は、駒大高校の減価償却引当特定資産及び校地拡張事業資産への繰入支出です。**予備費**は2億4,300万円（400万円増）。よって、支出の部合計は310億4,833万円です。

## 【消費収支予算書】

**帰属収入**は、学生生徒等納付金や補助金など負債とならない収入で、206億9,291万円（4億1,727万円減）。**基本金組入額**は22億2,070万円（4億1,654万円減）。この帰属収入から基本金組入額を差し引いた**消費収入**は184億7,220万円（8億3,381万円減）となっています。

一方、**人件費**や**教育研究経費**などの**消費支出**は190億3,737万円（2億8,673万円減）となっています。このうち減価償却額は18億8,535万円です。

消費支出が消費収入を上回った結果、5億6,517万円の消費支出超過となり、累積の**翌年度繰越消費支出超過額**は322億2,282万円となります。

学校法人 駒澤大学  
**平成23年度 資金収支予算書**  
平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

### 【収入の部】

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金収入	16,584,921	16,725,380	△140,459
手 数 料 収 入	971,775	1,023,725	△51,950
寄 付 金 収 入	213,684	410,576	△196,892
補 助 金 収 入	1,891,452	1,864,582	26,870
資 産 運 用 収 入	114,927	193,515	△78,588
資 産 売 却 収 入	0	27,500	△27,500
事 業 収 入	177,062	148,649	28,413
雑 収 入	728,024	720,660	7,364
借 入 金 等 収 入	54,000	54,000	0
前 受 金 収 入	6,476,219	6,597,551	△121,332
そ の 他 の 収 入	997,455	1,030,982	△33,527
資金収入調整勘定	△7,375,209	△7,603,269	228,060
前年度繰越支払資金	10,214,023	10,998,316	△784,293
<b>収入の部合計</b>	<b>31,048,333</b>	<b>32,192,167</b>	<b>△1,143,834</b>

### 【支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人 件 費 支 出	11,378,629	11,399,899	△21,270
教育研究経費支出	4,543,676	4,432,206	111,470
管理経費支出	913,723	1,108,943	△195,220
借入金等利息支出	310,584	355,828	△45,244
借入金等返済支出	2,746,966	2,641,966	105,000
施設関係支出	893,850	1,002,514	△108,664
設備関係支出	515,280	394,229	121,051
資産運用支出	250,004	460,004	△210,000
その他の支出	618,367	590,961	27,406
〔 予 備 費 〕	243,000	239,000	4,000
資金支出調整勘定	△456,204	△647,406	191,202
次年度繰越支払資金	9,090,458	10,214,023	△1,123,565
<b>支出の部合計</b>	<b>31,048,333</b>	<b>32,192,167</b>	<b>△1,143,834</b>

（注）金額は、千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

学校法人 駒澤大学

**平成23年度 消費収支予算書**  
平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

### 【消費収入の部】

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	16,584,921	16,725,380	△140,459
手 数 料	971,775	1,023,725	△51,950
寄 付 金	224,744	433,663	△208,919
補 助 金	1,891,452	1,864,582	26,870
資 産 運 用 収 入	114,927	193,515	△78,588
事 業 収 入	177,062	148,649	28,413
雑 収 入	728,024	720,660	7,364
<b>帰属収入合計</b>	<b>20,692,905</b>	<b>21,110,174</b>	<b>△417,269</b>
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△2,220,704</b>	<b>△1,804,166</b>	<b>△416,538</b>
<b>消費収入の部合計</b>	<b>18,472,201</b>	<b>19,306,008</b>	<b>△833,807</b>

### 【消費支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
人 件 費	11,092,081	11,287,763	△195,682
教育研究経費	6,216,443	6,081,578	134,865
管理経費	1,126,304	1,321,749	△195,445
借入金等利息	310,584	355,828	△45,244
資産処分差額	47,130	35,777	11,353
徴収不能引当金繰入額	1,831	2,408	△577
〔 予 備 費 〕	243,000	239,000	4,000
<b>消費支出の部合計</b>	<b>19,037,373</b>	<b>19,324,103</b>	<b>△286,730</b>
<b>当年度消費支出超過額</b>	<b>565,172</b>	<b>18,095</b>	
<b>前年度繰越消費支出超過額</b>	<b>31,657,650</b>	<b>31,639,555</b>	
<b>翌年度繰越消費支出超過額</b>	<b>32,222,822</b>	<b>31,657,650</b>	

# 駒澤通行マナー

【あなたのマナー違反で専用道路  
開放がまた制限されかねません】

本学周辺は住宅街であり、学生、教職員が一体となって、通行マナーを守ること、騒音等の迷惑行為を防止すること、近隣の方々との共存及びその平穏な生活環境を保全することは、私たちの重要な努めです。

過去においては、住宅街を通行し、東門を中心に入・退構することが容認されている時期もありました。しかし、「歩きタバコ、ポイ捨て、火がついたタバコの民家敷地内への投げ込み」「歩きタバコによる子供の火傷・衣類損傷」「空缶・ゴミのポイ捨て、民家への投げ込み」「広がっての通行による通行妨害」「昼夜を問わない大声による騒音」「私道の通行」など、近隣住民の方々に迷惑をかける事例が多く発生しました。学生に通行マナーの順守を呼びかけましたが、大きな改善効果は見られなかったため、東門・北門・通用門の全てを終日閉門とし、正門のみからの入・退構措置をとらざるを得ませんでした。

その後、近隣の方々のご意見も聞き、専用道路を再整備し、平成16年10月8日より、現在実施している北門からの入構のみの通行（8時30分～12時）が可能となりました。それまでは、終日正門のみの入・退構であったため、大きな改善となりました。

今後、専用道路の利用時間帯延長を近隣の方々へお願いしていくためには、当然のことですが私たちの通行マナーの向上・改善が大前提となります。立場を変え、自宅前を学生が延々と大声、奇声を出しながら通行されたら、あなたは毎日我慢できますか。一人のマナー違反が、専用道路の再閉鎖という全ての学生・教職員の便宜を損う結果をもたらすことにもなりますので、一人ひとりが相手の立場に立ち通行マナーを厳守するよう切に要望します。（総務部）



## ●通行マナーの目標

- ①歩きタバコ、吸殻・ゴミのポイ捨てをなくし、きれいな街をつくろう。
- ②向かいから横広がり歩行されるとぶつかりそうで怖い。2列まで歩行を励行。雨の日は1列歩行で。前後の人、お年寄り、幼児に対する気配り歩行をしよう。
- ③私道は他人の庭先。一歩たりとも立ち入ってはダメ。
- ④携帯電話（特にメール）を使用しながら歩行や、ヘッドホン等で音楽等を聞きながらの自転車運転は接触の元。対面歩行者にはペースメーカー装備者もあり、気遣いを。
- ⑤歩道混雑時、自転車の車道右側乗り入れは事故の元。反対側歩道利用などの工夫を。

## ●通学ルートのお願

- ①二子玉川方面から通学する場合は、桜新町駅も利用してください。路は広く花もきれいです。
- ②駒沢大学駅利用者は、西口経由で、国道246北側歩道も利用してください。混雑から開放されます。
- ③通学のために、大学周辺の住宅街通行、特に私道通行は慎んでください。

# 打ち水大作戦！ 2011

今年も、恒例となりました「打ち水大作戦」を開催します！

「打ち水」は地面に撒いた水の気化熱によって周辺が冷える現象を、暑さ対策として利用するものです。

東日本大震災の影響で節電を呼び掛けられている今年の夏。

打ち水で地面の温度を下げ、気温の変化を体験してみませんか。

ご協力いただいた方には、大学オリジナルTシャツをプレゼントします。

実施日	平成23年7月21日（木）
開始時間	12時30分
集合場所	大学会館前

※雨天の場合は、中止いたします。



昨年の打ち水の様子



## 「玉川キャンパス クリーン活動」実施中！

駒澤大学体育会は、玉川キャンパスを使用している団体を中心に、毎月最終土曜日の午後1時から玉川キャンパス内および周辺地域の清掃を4月より行っています。

大学生活の中で玉川キャンパスを使用するのは、1年次生の授業で週に一度通学するか課外活動で使用するかのどちらかです。特に課外活動で体育会団体を使用している日数・時間が多いのですが、最近では、周辺地域での通学マナーやゴミ処理の仕方など、決して良い状態ではありませんでした。

このような経緯から2月に開催された体育会総会の中で、「玉川キャンパス内および周辺清掃」をしようという各団体代表者からの意見が多く、即時実施が決定しました。

現在、玉川キャンパスを使用している体育会団体は23団体です。音楽系サークル団体もありますが、まずは体育会団体を中心となって玉川キャンパス周辺をきれいにしておくこと、近隣にお住まいの方々との親交を今まで以上に深めていくことを考えています。

駒沢キャンパスも含めて玉川キャンパスも「駒澤大学タウン」として住民の方々と共に生活していけるようになることを最大の目標として、今後も継続していきたいと思います。

(体育会委員長 経営学部経営学科3年 堂園 隼人)



## クリーン活動

### 「駒澤大学地域環境 クリーン活動」に協力を

駒沢キャンパスの学内及び周辺地域の清掃を行うために、「駒澤大学地域環境クリーン活動」を実施して9年目を迎えました。この活動は、春と秋に集中して1週間ずつ、毎月1回実施しています。毎日の通学



時のマナーも大切なことですが、大学周辺の環境をきれいにし、地域の方々と密接なつながりをもつことによって、よりよい学習環境を整えて行くことができると思います。毎月の活動は、下記

のとおりとなっています。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。ご協力いただける方は、総務部総務課（本部棟7階 TEL 03-3418-9012）までご連絡ください。

- 7月21日(木) ● 9月22日(木) ● 10月24日(月)
- 12月15日(木) ● 1月18日(水) ● 2月24日(金)
- 3月14日(水) ※時間は毎回10:40～11:40

## 「せたがや e カレッジ」とは

「せたがやeカレッジ」は、世田谷区教育委員会、国士舘大学、昭和女子大学、東京農業大学、駒澤大学が協力し、2004年5月に開講しました。インターネットという環境があれば、誰でも、いつでも、世界のどこにいても気軽に受講できます。

受講のために個人の登録が必要となりますが、一部の講座を除いて受講料は無料。各大学の特徴を活かした講座が満載です。2011年6月現在、97講座が開講されています。

下記のアドレスにアクセスしてみてください。みなさんを新たな知識の世界へご案内します。



せたがや e カレッジ  
<http://setagaya-ecollege.com/>

## 「世田谷シニアスクール」について

「世田谷シニアスクール」では、世田谷区のシニア層の方々が大学等の施設を利用して講義を運営しています。本学でも昨年度から施設を貸し出すとともに、講師の提供も行ってい



ます。受講者は毎回300人を超え、大変熱心に受講されています。今年度、本学での講義は6回を予定しており、今後の日程は次のとおりです。当スクールの許可も得ていますので、興味のある方はご参加ください。

※時間：10:30～12:30 場所：記念講堂

月 日	講 師	所 属	テ ー マ
7月19日	吉村 誠	仏教学部	三蔵法師のシルクロード
9月27日	小川 隆	総合教育研究部	禅の問答をよむ
10月25日	鈴木裕子	総合教育研究部	源氏物語の魅力 一々顔の巻の読み方ー
11月8日	早船元峰	文学部	都会の中のピオトーブ ー自然との共生ー
11月29日	角田泰隆	仏教学部	よりよく生きるための 八つの実践

仏教学部長谷部ゼミは、3年生23人、4年生30人の計53人で構成されています。さらに、授業では大学院生が2～3人、アドバイザーとして来てくださいます。

このように、人数を見ると少人数での授業を売りとするゼミとはかけ離れているように見えますが、人数が多い分、たくさんの人との交流を持てます。すでに他大学を卒業して来た方や年齢的に上の方もいます。それが若い学生にとっては大いに刺激になりますし、年齢が上の方には若い学生のパワーが伝わり、相互にいい影響を及ぼしています。

アドバイスをしてくださる院生も、他大学から来ている方や社会経験豊富な方がおり、強力に学生をバックアップしてくださるので、自分のやる気次第で、どんなゼミよりもいい環境になります。

授業内容は、仏教学部のゼミには珍しくゼミ生の発表が中心です。また、その発表を題材に少人数グループに分かれてディスカッションをします。その後、発表者に対して質疑応答の時間があり、最後に院生や先生から総評をいただきます。また、授業の流れや発表順、班編成などゼミの運営に関わることは先生や院生の方々にアドバイスをもらいなが

ら、ゼミ長以下幹部陣が主体的に決めていきます。

このように、長谷部ゼミでは学生が主体となって授業を作り、またゼミを運営しています。

授業外では、毎年8月に千葉県南房総市にある富浦セミナーハウスにて夏合宿を行っています。合宿では、4年生の発表がメインとなります。また、発表の時間外に懇親会やレクリエーションがあり、とても楽しい合宿になっています。

長谷部ゼミは、先生の人柄もあり、決して厳しいだけのゼミではありません。学問・人との交流…etc、ゼミ生自身が中心となって作っていく無限の可能性に長谷部ゼミの真髄があるのです。



## オープンキャンパス2011

好きになっから、  
受けてほしい。

1>100

百聞は一見にしかず

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス日程 7/30(土).31(日).9/18(日)

今年も恒例のオープンキャンパスが開催されます。高校生や受験生、そしてそのご家族などに広く駒澤大学を見ていただくという行事です。開催日は、7月30日(土)・31日(日)、9月18日(日)。当日は、大学の概要、入試の説明、学部・学科の紹介や模擬授業、個別相談にキャンパスツアーと多彩な催しが満載です。

駒澤大学のオープンキャンパスの特徴は、何といても、多くの在学生がいきいきと運営に参加していることです。会場の設営や案内でも活躍している学生もいます。個別相談コーナーでは、学生による個別相談も行われています。さらには実験・実習の助手として、学生生活紹介や外国語紹介の語り手・演じ手として、あるいは展示コーナーの係員として、いろいろな場面で、駒大生たちの元気な姿が見られます。昨年の来場者アンケートで最も多かったのは、学生スタッフの明るさと親切さへの好評。スタッフの中には、自分が高校生のときに参加して感動したから、今度は自分が、と名のりをあげてくれた人もいます。ご来場のみなさんには、是非、そんな駒大生を見ていただきたい。駒大生の諸君には、どんどん運営に参加してほしい。今日の駒大生と明日の駒大生が出会うオープンキャンパス。ともかく、みなさん、一度、来てみてください！

(入学センター所長 小川 隆)



# 2011 スポーツフェスティバル in 玉川開催について

今年も“スポーツを通じての地域交流・貢献を目指して”という大テーマを掲げ、10月2日(日)の午前9時30分から駒澤大学玉川キャンパスで「2011スポーツフェスティバルin玉川」を体育会イベントとして開催します。

昨年から体育会全体として、地域の方たちに貢献できるイベントに変更し、近隣の小学生・中学生を対象にしたスポーツ教室・そして日頃の練習を観ていただく見学会にしていこうと始めました。

昨年度は、初めての試みで、準備期間が短かったにもかかわらず、200人もの一般の方にご参加いただきました。今年は、準備を早め、世田谷区にもすでに後援依頼をして告知活動に力を入れています。



3月11日の東日本大震災の影響で震災に遭われた地域の人たちだけでなく、多くの人たちが心に大きな傷を負っています。だからこそスポーツを通じて、それぞれの競技種目で子どもたちの楽しい姿や笑顔を見るため、元気になるために、生き

ていることへの感謝を忘れないイベントになればと願っています。このような意味でも、昨年とはまた違ったスポーツフェスティバルにしたいと考えています。



体育会所属の40団体にとっても、このイベントでさらに結束力が高まり、各部活動でも各団体が競争しながら良い刺激を受けることで、今後の活躍にも期待が持てます。

このイベントは、大学(学生部・総務部・管財部・玉川校舎)の協力と教育後援会の支援のもと開催されます。感謝の心を忘れずに、一人でも多くの方から「来年も参加したい」という声が聞けるようなスポーツフェスティバルにしたいと思います。

(体育会委員長 経営学部経営学科3年 堂園 隼人)

## 「2011スポーツフェスティバルin玉川」

● 開催日 平成23年10月2日(日) ● 開催時間 午前9時30分～ ● 場所 駒澤大学玉川キャンパス(東京都世田谷区宇奈根1-1-1)

スポーツ教室開催クラブ(11団体)▶ 合気道部・女子合気道部・洋弓部・卓球部・陸上競技部・硬式野球部・サッカー部・硬式テニス部・軟式庭球部・体操競技部・オーストラリアンフットボール部

練習見学開催団体(7団体)▶ 柔道部・剣道部・男子バレーボール部・相撲部・ボクシング部・チアリーディング部・アメリカンフットボール部

申し込み期間 8月29日(月)～ 9月30日(金)

申し込み方法 FAX、E-mail、電話にて下記の内容を明記しお申し込みください

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ①参加者氏名(団体名)       | ②参加者年令 学校名 学年 |
| ③参加者保護者氏名(団体代表者名) | ④電話番号         |
| ⑤参加スポーツ教室名        | ⑥参加希望人数       |

お問合せ・申し込み先

駒澤大学 学生部学生1係スポーツフェスティバル担当者  
TEL.03-3418-9064 FAX.03-3418-9053  
E-mail gakusei-1@komazawa-u.ac.jp

**2011年度交換留学生です**  
キャンパスで見かけたら  
よろしく! 声をかけてください。

<p>林 東暁(イム ドンベク)</p> <p>東国大学校(韓国) 文学部国文学科</p>	<p>湯 雲(トウ ブン)</p> <p>華東師範大学(中国) 文学部国文学科</p>	<p>高 亜(コウ ア)</p> <p>華東師範大学(中国) 文学部国文学科</p>	<p>Gillart Thomas(ガント)</p> <p>プロヴァンス大学(フランス) 文学部国文学科</p>	<p>朴 沼暎(ハク ソヨン)</p> <p>東国大学校(韓国) GMS学部GM学科</p>	<p>黄 千丹(コウ センケイ)</p> <p>淡江大学(台湾) 人文科学第二研究科(社会学専攻)</p>	<p>楊 美賢(ヨウ ビホ)</p> <p>淡江大学(台湾) 文学部国文学科</p>	<p>Boukett Cindy(ベカー シン)</p> <p>プロヴァンス大学(フランス) GMS学部GM学科</p>
---	---	--	--	--	---	--	--

## 囲碁部

本学の囲碁部は部員数約30人（うち女子4人）で活動しています。囲碁の大会は団体戦と個人戦の2種類に分かれており、駒澤大学囲碁部は団体戦で1部リーグに所属しています。団体戦は5月と10月、個人戦は5月、6月、9月に、春季・秋季で主な大会が開催されます。他にもサークルフェスティバルへの参加や、夏合宿、11月に大学で開催されるオータムフェスティバルへの参加、親睦会など様々な行事があります。昨年のオータムフェスティバルでは、実際に囲碁が対局できる場を設けた他に、長細い風船でプードルなどを作る「パルーンアート」を部員自ら作り、好評を得ました。

普段は部員同士での対局や、インターネットを通して国内外（特に中国）の強豪との対局を行うことで実力を磨いています。大学から囲碁を始めた人もいれば、プロに勝てる程の実力をもつ人など様々な部員が在籍しており、部員同士とても仲がよいです。

今年5月の団体戦では関東3位に入賞し、個人戦では2名の部員が全国大会に出場することが決まっています。今後の大会でもよい結果を出せるよう、日々努力しています。

囲碁は敷居が高いイメージがあるかもしれませんが、ルールさえわかれば誰でも碁を打つことができます。最近では、囲碁を題材としたマンガで興味を持った人も多く、実際にマンガの影響で囲碁を始めた部員もいます。対局で負けてしまうと勿論悔しいですが、勝つとその何倍も嬉しいですし、何より囲碁の落ち着いた雰囲気はとても魅力的です。

少しでも興味を持った方は是非一度、碁を打ってみませんか？  
（学生記者 経済学部商学科4年 橘 久美子）



## サークルの活動報告 陸上競技部

第90回関東学生陸上競技対校選手権が5月14日（土）、15日（日）、21日（土）、22日（日）の2週間にわたって行われました。

1週目の1500mでは油布郁人（経営2年）が2連覇を成し遂げ、5位に岸本朋紘（商2年）が入賞しました。10000mでは今年の箱根駅伝7区区間賞の窪田忍（経済2年）が日本人トップとなる4位、攪上宏光（経済3年）が7位に入賞しました。2週目のハーフマラソンでは昨年優勝した千葉健太（経済3年）が大会2連覇を狙いましたが、惜しくも2位でした。キャプテンの井上翔太（GM4年）は後半失速し、8位入賞にとどまりました。5000mは他大学の外国人留学生に挑戦するも、5位の攪上宏光（経済3年）が最高で、6位に油布郁人（経営2年）、8位に上野渉（政治3年）が入りました。

長距離種目だけで1部昇格を目指しましたが、上がることで

きず2部残留が決まってしまいました。

これからは秋の駅伝シーズンに向けて夏季の強化合宿を行い、更なるレベルアップをはかっていきたいと思います。そして昨年は1つも優勝することができなかった10月出雲駅伝、11月全日本大学駅伝、1月の箱根駅伝の三大駅伝で、1つでも優勝できるように精進していきます。また、皆様に感動と勇気を与えられるような走りをして、駒澤大学だけでなく日本が元気になるようなレースをしたいと思っています。

今後ともご声援よろしくお願いいたします。

（主務 文学部社会学科4年 高木 将希）

成績	1500m決勝		5000m	
	1位	油布郁人（経営2） 3分48秒27	5位	攪上宏光（経済3） 14分12秒29
	5位	岸本朋紘（商2） 3分52秒63	6位	油布郁人（経営2） 14分13秒99
			8位	上野 渉（政治3） 14分16秒51
	10000m		ハーフマラソン	
	4位	窪田 忍（経済2） 29分04秒62	2位	千葉健太（経済3） 1時間06分19秒
	7位	攪上宏光（経済3） 29分37秒52	8位	井上翔太（GM4） 1時間07分17秒
	11位	村山謙太（経済1） 30分01秒38	9位	久我和弥（社会3） 1時間07分19秒

## サークルの活動予定

声援歓迎 みなさんの応援をお願いします

### 体育会

#### ●ゴルフ部

- 第59回関東学生ゴルフ選手権／8月9日（火）～12日（金）／鷹之台カンツリー倶楽部
- 2011年度（第65回）日本学生ゴルフ選手権競技／8月23日（火）～26日（金）／スリーレイクカントリークラブ
- 平成23年度関東大学秋季A・Bブロック対抗戦／9月15日（木）～16日（金）／茨城ロイヤルカントリー倶楽部

#### ●柔道部

- 東京学生柔道体重別選手権大会／9月4日（日）／日本武道館
- 全日本学生柔道体重別選手権大会／10月8日（土）～9日（日）／日本武道館

#### ●剣道部

- 第23回関東学生優勝大会／9月11日（日）／日本武道館
- 第37回関東学生女子優勝大会／9月17日（土）／東京武道館

### ●準硬式野球部

- 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦／9月～10月／八王子市民球場他

### ●硬式野球部

- 東都大学硬式野球秋季リーグ戦／9月～10月／明治神宮野球場

### ●軟式庭球部

- 平成23年度関東学生秋季リーグ戦／10月／千葉県白子町

### ●ボウリング部

- 関東学生選手権大会／8月22日（月）～24日（水）／立川スターレーン

### ●硬式テニス部

- 平成23年度全日本学生テニス選手権大会／8月25日（木）～9月4日（日）／有明テニスコム公園

### ●体操競技部

- 第65回全日本体操競技選手権大会／8月29日（月）～31日（水）／和歌山ビックホール

### ●弓道部

- 全日本学生弓道選手権大会／8月9日（火）～11日（木）／グリーンアリーナ神戸

### ●自転車部

- 全日本学生RCS東京地区クリテリウムラウンド／7月30日（土）～31日（日）／未定

### ●文部科学大臣杯

- 第67回全日本大学対抗選手権自転車競技会／9月4日（日）／青森県階上町

### ●ヨット部

- 秋季関東学生ヨット選手権大会／9月25日（日）～10月6日（木）／神奈川県葉山沖

### ●陸上競技部

- 第23回出雲全日本大学選抜駅伝大会／10月10日（月）／島根県出雲市

### ●相撲部

- 第38回東日本学生相撲個人体重別選手権大会／8月28日（日）／靖国神社相撲場

- 第60回東日本学生相撲リーグ戦／9月3日（土）～4日（日）／靖国神社相撲場

### ●居合道部

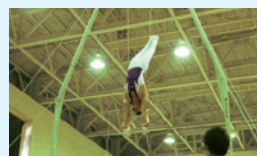
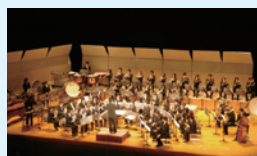
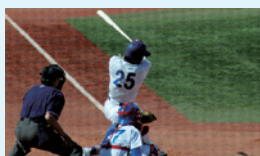
- 第33回東京都城南地区居合道大会／8月8日（月）／品川区ウェルカムセンター原体育館

- 第15回城西地区居合道大会／9月23日（金）／杉並区荻窪体育館

### 文化部

#### ●吹奏楽部

- 全日本吹奏楽コンクール（招待演奏）／8月20日（土）／江戸川区総合文化センター





## 前期科目定期試験及び追試験の中止

授業開始を延期したことに伴う授業日数確保のために、本年度の**前期科目定期試験及び追試験を中止します**。

### 成績発表及び「成績調査願」の受付

1. 前期科目の成績発表：8月23日（火）KONECOで発表
2. 「成績調査願」の受付：8月23日（火）～31日（水）

※成績評価に疑問点がある場合に、「成績調査願」を提出することができます。但し、27日（土）・28日（日）を除く。

## 夏季休業中の窓口事務の取り扱い

平成23年7月30日～9月15日

	日	月	火	水	木	金	土
7月							30
	31	1	2	3	4	5	6
8月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
9月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15		

1. 事務取扱日（図書館は開館日）—左記のカレンダー参照—

(1) 印 事務取扱日 (2) 印 全学休業日

2. 事務取り扱いについて

- (1) 教務部・学生部・キャリアセンター・国際センター  
9時30分～16時30分（12時30分～13時30分休止）
- (2) 図書館 9時30分～16時30分
- (3) 経理部 9時30分～16時  
（12時30分～13時30分休止）
- (4) 総合情報センター  
（サポート窓口）9時30分～16時30分  
（自習室）10時10分～16時20分  
詳細は、総合情報センターホームページを参照。
- (5) 保健管理センター 9時30分～16時30分  
（12時30分～13時30分休止）  
夏季休業期間中は、医師不在のため医師による診断を必要とする証明書の発行はできません。
- (6) 学生相談室  
取扱日、時間については学生相談室掲示板を参照。
- (7) 夜間事務センター 16時～19時30分

### 3. 証明書等の発行および受付について

- (1) 証明書自動発行機の稼働時間は、事務取扱日の9時30分～19時30分  
なお、(□印)の8月8日（月）と9月9日（金）は9時30分～16時
- (2) 電話・郵便による各種証明書の申し込み・発行はできないので、夏季休業前にあらかじめ多めに証明書をを用意すること。
- (3) 後期休学を希望する者は、8月23日（火）以降、教務部①番窓口にて休学願を受け取ること。（締切9月14日（水）期日厳守）
- (4) 大学院生の証明書は、事務取扱日に教務部⑤番窓口で16時までに申し込むこと。

## 売店の夏季期間の営業について

※7月29日（金）まで通常営業・8月1日（月）～9月15日（木）の土日は全店休業

	7/30(土)・31(日)	8/1(月)～8/8(月)	8/9(火)～21(日)	8/22(月)～9/15(木)
学生食堂	10:00～15:00	休業		
パオ	8:00～16:00	休業		
セブン-イレブン	8:00～17:00	8:00～18:30	休業	8:00～17:00
シンワネクスト	10:00～16:00	10:00～16:00 ※8/8(月)休業		10:00～16:00
オフィックス	10:00～14:00	10:00～15:00		10:00～15:00
駒大書房	休業	9:00～12:00		9:00～12:00
カメラフォトアート 紀伊国屋書店	10:00～15:00	休業		



大学からのお知らせ  
は、駒澤大学ケータイサイトへ



## 『今を支える駒大での出会い』

のむら けんじろう  
 広島東洋カープ監督 野村 謙二郎さん



1966年大分県生まれ。1985年駒澤大学経営学部入学。東都大学リーグ通算最多盗塁52を記録。88年ソウルオリンピック日本代表。89年に広島東洋カープに入団し開幕から一軍入り。走攻守揃った選手として活躍し、95年にはトリプルスリー（打率.315 本塁打32 盗塁30）、2005年6月に2000本安打を達成。同年引退。スポーツキャスターなどを経て10年より監督に就任。

本学在学中は、東都大学野球リーグにおいて複数の記録を打ち立て、プロ野球界においても輝かしい成績を残す広島東洋カープ野村謙二郎監督。駒大での思い出や在学生へ伝えたい気持ちを語っていただきました。

\* \* \* \* \*

プロ野球の世界に入っても時折、大学のグラウンド＝祖師谷寮に足を運んでいました。スランプに陥った時、いくら練習をやっても不安や恐怖心を払拭できず、試合が終わり宿舎に戻っても心穏やかになれず、タクシーを飛ばし祖師谷へ向かったこともありました。真っ暗なグラウンドや寮を見ながら周辺を歩き「学生時代にこういう練習をしたな…こんなこともあったな



大学4年春（1988年5月）東都大学リーグ戦で優勝 ピロティで報告会を行った

…」と振り返りました。また、大分に帰った時には、スポーツ少年団時代に競って上った山を歩いたりして、野球を始めた原点に戻ることで心を落ち着かせていたのかもしれません。

野球を始めるきっかけは、父にグローブを買ってもらったこと。小学1年のとき、佐伯市の「スポーツ少年団」に入り、野球に没頭する小学生でした。みんなで楽しい野球をやっていたのですが、先を競ってグラウンドや練習のために走る山へ向かったものです。2歳違いの弟とは、朝4時半起きで練習に行くことを競っていましたね。

中学時代も野球部で活動し、甲子園出場を目指すために地元強豪校の大分県立佐伯鶴城高校へ進学しました。中学時代からのチームメイトとともに主将として臨んだ高校3年の夏も大分県大会準決勝で敗退。一度も甲子園の土を踏むことはできませんでした。

駒澤大学への進学を決めたのは、佐伯鶴城高校時代、太田誠前監督からの勧誘でした。「神宮でも野球ができる」という喜びや興奮を思い出します。駒大への誘いがなければ、プロ野球選手そして監督となることはなかったでしょう。大学1、2年生の頃は、練習、寮生活ともに大変でした。練習の厳しさはありましたが、レベルの高い野球を知る喜びもありました。1年生からレギュラー入り。監督から試合での良いプレーに対して「よくやった」と褒めていただいたことも私を成長させてくれたと思います。上級生になり、下



©週刊ベースボール  
 通算3回の盗塁王に輝いた



©週刊ベースボール  
 2005年6月23日  
 2000本安打を達成

級生に対して練習中に教えることも求められました。太田監督から「今、調子がいいのはどこがいいのか教えるように」と言われた時は、自らどこがよくて打っているのかハッキリわからないのに、どう説明していいものかと戸惑うこともありました。

主将になってからは、プレッシャーとの戦いでした。常勝チームである『駒大硬式野球部』の主将である以上、「絶対に優勝！」という言葉に胸に刻み練習に試合に臨んでいました。みんなで結束して頑張っていたからこそ、今でも先輩や後輩、一緒に戦った大学時代の同期から、連絡をもらったり気にかけてもらったりと多くの人に支えられています。

駒大生のみなさんの中にも、震災の影響で心を痛めている人、大変な状況の人がいっぱいいるでしょう。元気な人はより一層元気に、生活や仕事ができることにありがたさを感じながら生きていきましょう。こんな時だからこそ、明るく人に優しく接していくことが大切です。人に対する優しさは必ず自分に戻ってきます。辛く大変な状況だったとしても「いい自分」を忘れず、自分を見失わないように頑張ってください。（広報課）